

## 春の交通事故防止のため 交通安全傘を寄贈



▲ 齊藤能代市長に安全傘を手渡す袴田組合長

JAでは交通安全への啓発と事故の未然防止の一環として、管内小学校に今年入学する児童に対し、交通安全傘を寄贈しました。

3月30日に藤里町役場へ25本、3月31日には能代市役所へ420本が寄贈され、各小学校へ配られます。目立つ黄色のデザインで、雨天時における児童らの交通事故を、未然に防ぐねらいがあります。またJAでは今後も安全旗の寄贈などを予定しています。春になると交通量が増えることもあり、特に通学通勤時はドライバー・歩行者ともに、安全確認を怠らないようご注意ください。

## 平成 23 年度の経営計画を 生産者と共に検討



▲ 協議会では活発な意見が交わされた

JAでは各4支店において支店運営協議会を開催し、平成23年度経営計画について検討し、生産者から意見を求めました。

同会には各地区で多数の生産者が参加。政府が推し進めるTPP交渉や、新たに畑作物も加えた『農業者戸別所得補償制度』の施行などを控えJAではTPP交渉に断固反対し、戸別補償制度を活用して米・畑作物などの生産拡大を推し進めています。協議会では生産者からJAに対し、昨年の異常気象を踏まえた支援を求める意見などが聞かれました。

## 東日本大地震被災地に向けて支援物資 (米・ねぎ・みそ) を送る



▲ 支援物資を積み込む (3月18日)

JAでは3月11日に起きた東日本大震災に対し、被災地に支援物資の提供を行っています。13日には市からの要請を受け、藤里営農センターにて用意した玄米50俵を職員らが精米処理。翌日14日に、市を通して被災した大船渡市などへ届けられました。また18日にはJA独自の支援物資として、玄米50俵とねぎ150kg、みそ40kgを被災地へ発送しました。今後も同様な支援と職員の派遣などを継続して行っていく予定です。

また『東日本大震災に伴う平成22年産米出荷のお願い』として、組合員の方々から平成22年産の飯米・保有米を買い取り、被災地へ届ける運動を行っており、4月末日まで受け付けております。多く保有されている方は、是非ご協力をお願い致します。

『東日本大震災に伴う平成 22 年産米出荷』の連絡先

能代営農センター：55-0778

二ツ井営農センター：73-5193

藤里営農センター：79-1644